

「なりわい」

「コラム」



パナソニックグループの創始者、松下幸之助氏はこう言っている。「何としても2階に上がりたい、どうしても2階に上がろう。この熱意がはしごを思いつかせ、階段を作り上げる」。目的や目標をしっかりと定め、そこに向かおうとする熱意のある人物が、新しいこと

熊本伊織

長岡市グランド・アズ・ライズ・ネット・フード

を思いつき実現することができる、「ということだ」。

経営者やリーダーには熱意が欠かせない。「1階は景色が悪い」と愚痴るだけの人や「2階に上がっても何があるか分からない。はしごができれば考える」と

目標立て「かわろう」

当事者意識の低い人は、経営者、リーダーとは程遠いということだろう。

京都で事業拡大を続ける農業生産法人「こと京都」の山田敏之社長の調査研究

によると「全国の農業法人について、売上高の目標が高ければ高いほど事業計画、就業規則、従業員の保険、給与制度などがしっかり整備されている。整備されていないものは、現在の売上額ではなく将来

の目標額と強い因果関係がある」という。これは「将来の成長目標によって今の行動が違ってくる」と言い換えられ、経営者教育の根幹をついた視点だと思ふ。成長のために

というステップだ。何を学ぶべよいかについては、その当事者次第である。私は、農業者やチームメンバーに「全てのことについて正解を探して話す。正解を探さなくても何も始まらない。自分

の目標額と強い因果関係がある」という。これは「将来の成長目標によって今の行動が違ってくる」と言い換えられ、経営者教育の根幹をついた視点だと思ふ。成長のために

を受け取る。修了時には事業計画を作成して発表する。将来の成長目標を定めて自身の行動を変えることが大切なのは、前述の研究で示された。この研修は、学ぶ方法の選択肢の一つだろう。県の取り組みの良いところは、農業者と一緒になって県職員や普及員、6次化のサポーターも学んでいるところだと思ふ。経営者やリーダーには、支援してもらおう。今年度も農業者の学び場を、農業者に劣らない熱意をもってプロデュースしたい。

長野県では今年も「信州農業MBA研修」が開講する。自分なりの熱意、目的の発掘のための機会だ。農業者仲間とともに経営理念をつくり、経営戦略やマーケティング、食品流通や消費者について実戦的な講義

経営者の資質

「こと京都」の山田敏之社長の調査研究

によると「全国の農業法人について、売上高の目標が高ければ高いほど事業計画、就業規則、従業員の保険、給与制度などがしっかり整備されている。整備されていないものは、現在の売上額ではなく将来

を受け取る。修了時には事業計画を作成して発表する。将来の成長目標を定めて自身の行動を変えることが大切なのは、前述の研究で示された。この研修は、学ぶ方法の選択肢の一つだろう。県の取り組みの良いところは、農業者と一緒になって県職員や普及員、6次化のサポーターも学んでいるところだと思ふ。経営者やリーダーには、支援してもらおう。今年度も農業者の学び場を、農業者に劣らない熱意をもってプロデュースしたい。

(熊本さんの次回掲載は7月3日)